朝鮮社会科学者協会

通報



2

2020

目　次

1. ギニア共和国の党及び政府代表団におこなった助言 3
2. 告白.. 4
3. 金正恩委員長の人民観 4

4. 今日の朝鮮

1）チュチェ朝鮮の第一の国力.................................... 6
2）人民大衆第一主義が具現された朝鮮の真骨頂........................ 7
3）朝鮮における正面突破戦...................................... 10
4）朝鮮における全人民科学技術人材化.............................. 10
5）幸福な生を享受する朝鮮の老人たち.............................. 12
6）「どの国の都市の建物のようであるか」 14
7）朝鮮のチマ・チョゴリ 18

5. 卓越した思想、非凡な英知に魅了されて

1）「宿所にある書籍を全部もっていく」 20
2）「『蓄電池』が消耗されたらまた訪朝します」 21

6. 懇 談

金正恩委員長の政治の特徴について 22

7. 実 話

1）「朝鮮では女性たちが何年間デモをおこないましたか？」 25
2）もっとも短い「講義」 26

8. 各国人士の声

1）記事「住宅を通した国家の恵沢」を読んで............................29
2）地上の楽園―朝鮮民主主義人民共和国....................................31
3）主体性と民族性を固守することにアフリカが発展する唯一の道がある.....35
4）国と民族の自主性、民族性を固守する上で提起される重要な問題.........36

9. ニュース

1）スイスでチュチェ思想に関する研究セミナーを開催.........................38
2）南アフリカでインターネット・セミナーを開催..............................38
3）ルーマニアで全国セミナーを開催..39
4）ブルガリアでインターネットによるセミナーを開催.........................39
5）ネパールでインターネット・セミナーを開催................................40
6）ドイツで研究セミナーを開催...40
7）イタリアでインターネットによる研究セミナーを開催.......................41
8）パキスタンでセミナーを開催...41

10. 新書紹介

実話集　「祝日の賓客」...43

ギニア共和国の党及び政府代表団におこなった助言

1972 年、首相を団長とするギニア共和国の党及び政府代表団が朝鮮を訪問した。

彼らは金日成主席に送る大統領の親書をもってきた。親書には主席が新しい社会建設に立ち上がった自分たちにたいする貴重な助言を求める懇切な願いが込められていた。

当時、ギニアは植民地支配の残りかすを一掃し、新しい社会建設を早めるための一連の措置を講じた。しかし、それがギニアの実情に合わないことにより、予想外の悪結果をかもし出していた。

こうした実態について調べた主席は代表団を接見した席で、彼らが新しい社会建設で収めた成果を鼓舞激励し、現代は各国の革命家が革命と建設で提起されるすべての問題を自分の判断と決心によって自主的に、創造的に解決することを求めていると教えた。そして人びとが料理を食べる方法を見ても国によって異なる、ある国の人たちは料理をスプーンで食べ、ある国の人たちはフォークや箸で食べ、またある国の人たちは指でとって食べる、だからすべての国の人たちにみんなフォークで料理を食べろとはいえないのではないか、これと同様に各国で革命と建設も自国の実情に合わせておこなうべきである、と具体的に説明した。

主席がギニア共和国の党及び政府代表団におこなった助言は実に貴重なものであった。



告　白

チュチェ 88（1999）年 10 月のある日、全連盟ボリシェヴィキ共産党の指導者が朝鮮を 4 回目に訪問した。

金正日総書記は現地指導の多忙な中でも彼を接見した。

総書記は彼に大衆の支持と信頼を受けない党は自分の目的を成功裏に実現できないとし、社会主義を志向する党が堅持すべき革命的原則について貴重な助言をおこなった。

革命的党が進むべき道を明示する総書記の助言を受けた彼は激動した気持ちをこう吐露した。

「実に金正日総書記は思想においても、指導においても、徳望においても一番である世界的な偉人である。不世出の偉人を心から敬慕し慕うことこそどんなに幸福なことなんだろう」

これは偉人に魅了された人間の心からの告白であった。

金正恩委員長の人民観

朝鮮人民を金日成主席と金正日総書記を戴くように奉じ、人民のためにすべてをささげること、まさにこれが金正恩委員長の人民観である。

人民を天のごとく見なした主席の意志、人民が望むなら空の星もとり、石の上にも花を咲かせるべきであるという総書記の意志をそのまま受け継いだ委員長は、人民の高い尊敬と信頼を受けた主席と総書記を奉じるように朝鮮人民を仰ぎ従おうとする盟約を厳かに宣言した。

指導者が領袖を仰ぐように人民を奉じ、人民のためにすべてをささげるということは、この世のどの指導者も思い及ばなかったことであり、さらに人民は夢の中でも考えることのできないことである。

人民の姿を主席と総書記の映像のように心に受け止め、主席と総書記を仰ぎ従うように奉じるべきである!

これはいかなる政治的宣言ではなく、人民にたいする愛をもっとも崇高な高さで体現した偉大な指導者の心の告白である。

チュチェ 106（2017）年 3 月のある日、委員長が新型のエンジンの研究製作のために苦心してきた国防科学者、技術者を抱きしめ、ある科学者を背負ってくれる歴史的な画面が報道されて、人々を大きく驚嘆させたことがあった。

世界政治のどのページ、どの国の歴史に一国の指導者が自国の人民を背負ってくれた記録があるのか。

指導者と人民がいささかの間隔もなく、一つとなり、指導者が人民を背負って世界の絶頂に立たせるのが金正恩委員長の人民観である。

チュチェ朝鮮の第一の国力

世界には強国と自負する国々がある。

広大な領土、強力な軍事力と経済力、科学技術力…

しかしこの表徴だけでは強国を論ずるに足りない。

それらの上に強国だと堂々と言える第一の国力がある。

世界が公認する強国であるチュチェ朝鮮の第一の国力、それはいかなる狂風にも微動だにしない党と大衆の一心団結である。

金正恩委員長は次にように述べている。

「全党と全人民が領袖を中心に思想・意志、道徳・信義の上で固く団結した全社会の一心団結を実現したことは、総括期間わが党が収めた大きな成果であり業績です」

団結で始まり、団結を武器にして前進し勝利するのが革命である。

世界に団結を志向しない党、団結を強調しなかった政治家はいなかった。しかし、一つの中心、一つの思想にもとづいた全人民の一心団結を実現したのは世界に朝鮮労働党しかない。

朝鮮の一心団結は決して抽象的な概念ではない。

朝鮮労働党は人民を天のごとく見なして奉じ、人民は朝鮮労働党を母のごとく信頼し慕い従うここに、朝鮮の一心団結の強固さがあり、その不可抗力的威力がある。

金正恩委員長はチュチェ104（2015）年9月、水害を被った羅先地区を訪れ、党にたいする人民の信頼がわれわれには一番大事である、財宝の中でも一番貴重な財宝が人民の信頼である、と熱く述べた。

昔から権力と黄金でも買えないのが人民の心であるといった。わが子を見守る母の気持ちで千万の人民を暖かく抱いて見守る真の愛のみが人民の信頼を得ることができ、いかなる狂風にも微動だにしない固い信念の持ち主に育てることができる。

その信念があって朝鮮人民はいかなる狂風の中でも恐れを知らず、金正恩委員長

の指導に従って社会主義強国建設に愛国の血と汗を惜しみなくささげているのである。

朝鮮が歴史に類を見ない試練の中で民族史に特記すべき奇跡と出来事を絶えず起こし、強大無比の国力を全世界に誇示できたのは、委員長の周りに千万の人民が一つの心と意志で固く団結した一心団結の限りない威力があったからである。

千万の人が話しても一つの声であり、千万の隊伍の歩みも同じである朝鮮の一心団結、朝鮮を強国の地位に引き上げたその偉大な力は委員長の崇高な人民愛に根を下ろした、尽きない力である。

党と人民が血縁の情で固く結束した朝鮮の一心団結は何ものにも代えがたいもっとも大きな財宝、チュチェ朝鮮の第一の国力であり、その力に勝る者はこの世のどこにもない。







人民大衆第一主義が具現された朝鮮の真骨頂

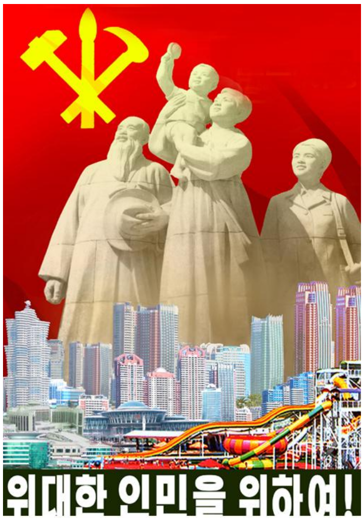
朝鮮は人民を天のごとく奉じる世界にまたとない人民大衆中心の社会主義国家である。

金正恩委員長は次のように述べている。

「国家活動と社会生活の全般に人民大衆第一主義を確実に具現しなければなりません」

人民は社会主義国家の根幹であり、地盤であり、その発展の担当者である。それだけに人民的な政治理念を押し立て、国家活動に一貫して具現していくことは社会主義国家の興亡を左右する根本的要因となる。

朝鮮はもっとも人民的な政治理念である人民大衆第一主義が具現された真の人民の国である。人民大衆第一主義は人民大衆を革命と建設の主人として見なし、人民大衆に依拠して人民のために滅私奉仕すべきであるという政治理念である。



人民大衆第一主義には人民を世界でもっとも貴重で強力な存在として押し立てるチュチェの革命哲学が具現されており、人民を限りなく愛し、人民の要求と利益を最後まで実現しようとする朝鮮労働党と共和国政府の透徹した立場が反映されている。国家としての姿やその洋々たる前途において朝鮮が、どの国にも比肩できない偉大な国として威容を轟かせているのは人民大衆第一主義を確実に具現しているからだ。

人民大衆第一主義が具現された朝鮮の真骨頂は、党と国家が人民のために滅私奉仕するところで表現される。

人民にたいする滅私奉仕は、朝鮮労働党と共和国政権の存在方式であり、人民大衆第一主義政治の中核である。

党と国家の第一の重大事は人民生活を画期的に高めることであり、すべての政策は人民の意思と要求を集大成して作成されている。人民の利益と便宜が最優先、絶対視されているのは朝鮮でのみ見られる現実である。「すべてを人民のために、すべてを人

民大衆に依拠して!」というスローガンには朝鮮労働党と共和国政府の人民大衆第一主義の立場が凝縮されている。



朝鮮では国家社会生活の全般で人民的なもの、大衆的なものが優先視され、人民の利益を侵害する些細な要素と行為に対しても絶対に黙認しない。滅私奉仕戦に一貫させるべきであるというのが朝鮮労働党の意志である。

世界的な大流行伝染病を防ぐための先制的で徹底的な非常防疫措置が講じられ、首都のあつらえ向きの場所に現代的な平壌総合病院が建設されているのは朝鮮労働党と国家の人民的性格と本態を明白に示している。

人民大衆第一主義が具現された朝鮮の真骨頂は人民が党と国家に自分の運命を全的に委託し、真心を込めて奉じる上で表現される。

多くの国々が国民のための政治を標榜するが、人民が自己の運命と次代の未来を委託する国家とはなれない。人民が心から、精神的に慕い奉じる国家は不敗である。



党と国家の路線と政策を一心同体となって奉じていくことは朝鮮人民の思想的・精神的特質であり、立派な風貌である。敵対勢力の悪辣な反共和国策動と生存を脅威する困難な試練の中でも党の路線を絶対的に支持し、決死的に貫徹した朝鮮人民であったがゆえに、国の自主権と生存権、発展権を頼もしく保障する最強の国家防衛力を備え、共和国の総合的国力と戦略的地位がを最高の境地にひきあげたのである。

今日も朝鮮人民は、党の懐、祖国の懐を離れては瞬時も生きられないという強い信念をもって、自力富強、自力繁栄の大業を実現するために力と知恵、情熱を惜しみなく傾注する誓いをさらに固めている。社会主義祖国を自分の手で守り、誇らしく発展させていこうという愛国者の大部隊がある朝鮮の将来は洋々としている。

朝鮮における正面突破戦

朝鮮労働党中央委員会第７期第５回総会では現下の情勢と革命発展の要求に即して正面突破戦を果敢にくり広げるという革命的路線を示した。

正面突破戦は、現情勢下で敵対勢力の圧殺策動を無力化させ、社会主義建設の新たな活路を切り開くための革命的な闘争戦略である。また主体的力、内的動力を全面的に強化して社会主義勝利の日を一日も早くくり上げるための積極的な前進方式である。

党の周りに固く結束した人民の限りない力と試練の中で強化された自力自強の威力、闘争の前途を照らす科学的で革命的な思想にたいする信頼は朝鮮人民に正面突破戦の勝利を確信させている。

朝鮮人民は党中央委員会第７期第５回総会で提示された綱領的課題に接し、直面する障害と難関を正面突破し、社会主義建設をさらに促進させるための厳かな闘争にこぞって立ち上がって革命的大進軍を力強く早めている。














朝鮮における全人民科学技術人材化

今日、朝鮮では全人民科学技術人材化を実現するための闘争が力強くくり広げられている。

金正恩委員長は次のように述べている。

「全人民科学技術人材化は、社会の全構成員を大卒程度の知識を身につけた知識型勤労者、科学技術発展の担い手にするための重要な事業です」

今日、朝鮮では全人民科学技術人材化を実現するため、誰もが高等教育を受け、一生学ぶことのできる立派な教育体系と環境をつくっており、科学技術殿堂を中心に全国的な普及網を形成し、新たな科学技術資料が中央から下部に至るまで水が流れるように普及している。

機関、企業所、工場、協同農場では科学技術殿堂とネットでリンクされた科学技術普及室を立派に整備し、その運営を正常化して勤労者の科学技術知識水準を高めている。

朝鮮人民はみんなが科学技術の主人、科学技術発展の担当者になって社会主義強国を一日も早く建設するという熱意にあふれて熱心に学んでいる。











幸福な生を享受する朝鮮の老人たち

「訪朝の間に目撃したこの国の人たちの日常生活はたいへん印象的であった。

平壌の牡丹峰では老人たちが踊りを踊ったり、運動をしたりしながら楽しい時間を送っていた。

横断路で、ある少年団員がお婆さんの手をとって安全に渡るようにし、丁寧に挨拶をする姿は非常に興味深かった。」

これは数年前、訪朝していたある外国人がシンガポールのある新聞に掲載した記事の一部である。

それだけでない。誰もが朝鮮を訪問すれば老人たちの幸福に満ちた姿を見ながら深い感銘を受けている。

朝鮮では党の老齢者保護政策が確実に具現されて老人たちが幸福な生を享受している。身寄りのない老人も国家の配慮の下で何の心配もない生活を送っている。各所の養老院は余生を楽しく送る楽天地として立派に整備され、全保養生が社会的な関心の中で革命先輩、目上の人として尊敬を受けながら人生の喜悦に満ちている。

それゆえ、朝鮮の老齢者たちは党と国家の恩恵に少しでも報いるためによい事をさがしておこない、愛国の心を尽くしている。

朝鮮の社会主義こそは老齢者たちが人生の老年期にも青春の活力をもって社会発展に寄与し、張り合いのある生を享受できるもっともすぐれた社会制度である。




2018. 6


2017.11.7




2016.7


2016. 2


회전비행기
2018. 10


2019. 5


2018. 7


2018. 10


2018. 7




2018.10


2019. 6


2018. 11


2019. 7


2017. 8


2016. 7

「どの国の都市の建物のようであるか」

数年前、ブラジルのあるウェッブ・サイトが数十枚の写真を掲載しながら加入者に提起した質問である。

残念ながらこの質問に朝鮮の建物であると答えた加入者は一人もいなかった。

後に朝鮮の首都平壌に建てられた建物であると知った加入者の態度はどうであったか。

もちろん驚嘆、羨望であったという。

すると、信じがたい朝鮮の現実が与えた衝撃、それはなにを意味するのか。

それは敵対勢力のいかなる制裁や圧力も朝鮮では絶対に通じないということである。

ある一面ではなく、政治、軍事、外交、経済など各方面にわたる朝鮮にたいする制裁は、一国でもない帝国主義連合勢力によっておこなわれ、数ヶ月、数年でもない70年余りの間、持続されている超強度制裁である。

貪欲な敵対勢力は朝鮮の力を次第に消耗、弱化させようと超強度の制裁という腐った種を埋めては「崩壊」の新芽が出ることを今か今かと待ち焦がれた。

しかし、与えられた運命を生きるのではなく、運命を自力で開拓することに慣れてきた朝鮮は、自力更生の威力で敵対勢力の制裁と封鎖の鎖を断ち切り、国家の力、国防力を強化して大きな成果を絶えず備蓄した。

こうした現実の前では誰もが驚かざるを得ないであろう。

真実は何をもってしても覆い隠すことができない。まさにこうした真理を再度実証したことにより、朝鮮衝撃の意味は実に大きい。

世紀を継いでいる敵対勢力の過酷な制裁によって、今朝鮮には不足しているものも、難関も少なくない。しかし常に人民と苦楽をともにする朝鮮労働党の人民愛の政治によって、人民の念願が一つ一つ現実となっている。

にもかかわらず、朝鮮の「悲惨な現実」だの、何だのと言う悪宣伝と買収された「証人」たち、民族反逆者によって捏造された「証拠」資料で真実を歪曲する敵対勢力の卑劣な行為によって、世界の多くの人が朝鮮を正しく見ないでいる。

2020年に入って500余万名という視聴率で報道界を驚嘆させた平壌取材報道物の

テレビ放映は、今日の朝鮮の姿をありのまま画面に載せたことにより、多くの視聴者の驚きを招いたという。現地で直接撮って送ったある外国の特派記者も平壌がこのように素晴らしい都市であるとは知らなかったと感嘆した。

朝鮮の諺に百聞は一見にしかずという言葉がある。朝鮮を知りたいなら、平壌に来て信じがたい制裁の中の現実を自分の目で確かめるのがよいであろう。









朝鮮のチマ・チョゴリ

朝鮮のチマ・チョゴリは長い歴史をもっている美しくてすぐれた朝鮮の女性たちの特色ある民族衣装である。

チョゴリの長さが非常に短い上にチマの長さがだいぶ長い朝鮮のチマ・チョゴリは平面性と立体性が結合されたことにより、人々に印象的な感じを与える。

美しくてすぐれた朝鮮のチマ・チョゴリの衣装は今日、朝鮮の女性たちの服装で重要な構成部分、民族の誇らしい象徴となっている。







卓越した思想、非凡な英知に魅了されて

「宿所の本を全部もっていく」

チュチェ 63（1974）年 5 月、朝鮮を訪問したセネガルのサンゴール大統領は 3-4 日間だけの訪問期間、昼は各地を参観するなり、夜は宿所の書斎にある金日成主席の著作を読むなり時間がたつのを知らなかった。

サンゴール大統領が朝鮮訪問を終えて帰国する時であった。彼は該当幹部に宿所の書斎にある主席の著作を全部もっていけるように助けて欲しいといった。

この話を報告された主席は書籍を全部もって帰るより、要求する本が何であるかを調べて彼の要求通り送ってやるようにした。

サンゴール大統領はお別れの訪問をした席上で、主席に自分の気持ちを次のように打ち明けた。

「私はこれまで主席閣下の著作を読んではいましたが、時々読んでいるのでそこに込められた思想を完全に把握できませんでした。それで帰って体系的に読もうと思います」

そして彼は主席閣下の著作をもっていって自分だけでなく同僚たちと自国のすべての青年に読ませて勉強させるつもりであると申し上げた。

サンゴール大統領のこの言葉には非凡な思想的･理論的英知をそなえた主席の傑出した偉人像にたいする限りない魅惑と称揚が込められていた。

「『蓄電池』が消耗されたらまた訪朝します」

タンザニアの大統領であったニエレレがチュチェ 78（1989）年、タンザニア革命党の委員長として朝鮮を訪問した時であった。

金日成主席はニエレレ委員長を接見し、彼が提起した問題について具体的に助言した。新たな国際経済秩序をうち立てる問題と南南協力問題、一部のアフリカ諸国で自由化 の風に吹かれて多党制を受け入れた結果、混乱と民族紛争が起こった問題などにたいする主席の助言を注意深く聞いたニエレレ委員長は主席にこのように申し上げた。

「いまや私の『蓄電池』は十分に充電されました。以前は他国の人々が私に強い『攻撃』を加えてきたので、私の『蓄電池』に穴が開き、漏れていました。しかし、今は完全に充電されました」

彼の告白には情勢の変化と外部勢力の圧力の前でいささかなりとも動揺しようとしていた自分が主席の助言を聞いて気をつけたという率直な気持ちが込められていた。

ニエレレ委員長は主席を仰いで「蓄電池」の能力が弱くなるたびに貴国にまいりますといい、自分が見習うべき唯一の模範の国は朝鮮であり、自分は自力更生の原則にもとづいて社会主義を成功裏に建設している唯一の国は朝鮮だと見ていると心を打ち明けた。

懇 談

金正恩委員長の政治の特徴について

（連載）

オ・ソンチョル：昔から政治という言葉は人民を治めるという言葉として使われてきたが、委員長の政治は人民と生死苦楽をともにしながら人民のために自分のすべてを尽くす滅私奉仕の政治であるというところに今一つの特徴があると思います。



リ・ソンチョル：滅私奉仕は委員長の人民大衆第一主義政治の根本的中核です。委員長は人民のためには一身が砂子となって散っても悔いはないという高潔な人生観、人民のためなら骨が砕ける苦労も辞さないという意志をもって人民のために滅私奉仕します。

キム・チャンギョン：委員長は祖国と人民のために自分の命をもなげうつ犠牲的な献身をしています。委員長は人民が利用するロープ・ウェーと遊戯施設、地下電動車の安全性を確かめるために自らお乗りになり、祖国と人民の尊厳と安寧、地域の強固な平和と安全のために危険極まりない最前線にも出向いています。

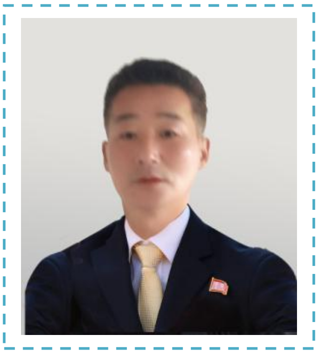


億万の金、国の資産を全部投資してでも人民の不幸を一日も早くいやさなければならないとして、委員長は羅先地区と北部地帯で自然の大災難を被ったとき、ただ数ヶ月の間で被害地域の人民に新たな通りと村を建ててあげるよう賢明に指導しました。

リ・ジョンファ：朝鮮における連続的な成果を見て世界の多くの人々は、朝鮮人民が奇跡の年代に生きていると言っているが、朝鮮に立ち上がった人民愛の建造物と奇跡的なすべての成果は、委員長の千万労苦と引き換えたものです。委員長が今回悪性ウイルスの伝播で騒ぎ立てているとき、平壌総合病院の建設を直接発起し、陣頭に立って指揮していることだけを見ても、人民のための委員長の滅私奉仕の思索と実践に

ついてよく知ることができると思います。

オ・ソンチョル　：政治の円熟さと生命力は、それが今日と明日をみな包括することにあります。委員長の政治の真の変革的意味は、その政治が革命の遠い将来を見通し、子孫万代の繁栄と幸福の土台を築いていく未来志向的な政治であるというところにあるのではありませんか？



ユン・ヨンナム：委員長の政治には朝鮮人民と全人類の理想と未来があります。委員長は全人民科学技術人材化、教育革命の方針を示し実現して、未来の社会を担って立つ人材を育成することに第一義的な関心を払っています。委員長の直接の発起と賢明な指導によって最近新しく建設された北辺の三池淵市と中平野菜温室農場、陽徳温泉文化休養地、モデル工場と育苗場には未来に生きる人たちの志向と要求、感情と情操を推し量る委員長の遠大な理想と抱負が込められています。



ムン・ジョンスク：委員長は子供たちと生徒・学生たちのノートと教科書、文房具だけでなく、制服と靴、鞄にいたるまで深い関心を払い、次代教育に必要なものを国家の負担で解決しています。実に委員長は誰よりも未来を愛し、心血と労苦を注いで未来を建設していく、魅惑的な政治家です。



り・ジョンファ：未来という言葉は委員長がもっとも愛し、よく使っている表現です。委員長は新しい通りの名前も未来科学者通り、教育者、科学者の店の名前も未来商店、遠隔教育基地の名前も未来院と呼ぶようにしました。山林復旧戦闘の炎を燃やしたのも、教育革命、科学重視路線と自力更生の旗印をかかげるべきであるという路線を示したのも、祖国の富強繁栄を永遠に保障する強力な国力を保持させるためです。

キム・チャンギョン：委員長が短期間に最強の国家防衛力を備蓄したことは祖国と民族、人民の燦然たる未来のために築いた業績の中のもっとも貴い業績です。

世界の多くの人たちは今日、人民愛を現実として実現した指導者はただ朝鮮の最高指導者金正恩委員長しかいないとし、委員長を魅惑せざるを得ない名人、影響力のある指導者として高く称揚しています。



オ・ソンチョル：御もっともです。万民が驚嘆する老練で低力のある人民大衆第一主義の政治を実施している委員長を戴いているので、朝鮮人民はより明るい明日を確信しています。ありがとうございました。

実 話

「朝鮮では女性たちが何年間デモをおこないましたか？」

平壌産院の乳腺腫瘍研究所を参観するブラジル女性同盟代表団団長の目には感動の色が映った。現代的に整備された乳腺撮影室、レントゲン撮影室、抗癌治療室、物理治療室、体熱室、超音波室、手術場をはじめとした診断および治療室と数十の入院室に乳腺症と乳腺癌の治療に必要な先端設備一式が揃えられていた。

手術場をはじめとした研究所のすべての治療室が無菌化、無塵化されていた。こういう立派な研究所を女性たちのためにつくっていた。

彼女は廊下で患者服を着て椅子に座っているある女性に近寄って聞いた。

「朝鮮では女性たちが何年間デモをおこないましたか？」

（デモって？なぜデモをするの？）

女性患者の目は大きくなった。彼女の質問が何の意味なのかまったく知らなかったからである。それもそのはず、通訳もその言葉の意味を知らずに直訳したのであった。

「こういう研究所をつくってくれと女性たちが何年間デモ闘争をしたのですか」

その時はじめて言葉の意味が分かった女性患者がにっこりと笑いながら答えた。

「誰もデモはしていません。われわれ女性たちはずっと前から平壌産院の専門課で乳腺腫瘍にたいする検診と治療を無料で受けていました。　それにもかかわらず、金正日総書記は生涯を終える最後の時期に現代的な乳腺腫瘍研究所を新しく建設するようねんごろに頼み、自ら設計図まで指導しましたよ。

金正恩委員長が総書記の高い意志をこのように現実化しました。

金正恩委員長は研究所を整備したことに満足せず、女性たちが正常的に訪ねてきて検診を受けるようにすることにより、乳腺症と乳腺癌にかからないようにするのは朝鮮労働党の予防医学政策であると述べました。それで私も今この研究所に入院しましたよ。」

女性患者は目頭を熱くするのであった。ブラジル女性同盟代表団団長の目も涙にうるんだ。国の指導者が女性たちの健康まで気遣うとは...

彼女はしわがれた声でいった。

「ブラジルでわが女性たちは自分たちの専門総合病院を建設してくれと 10 年間も

デモをしています。しかしまだわれわれはその要求を実現せずにいます。朝鮮の女性たちが実にうらやましいです。…」

彼女は別れる前に患者の手をとって自分の真心を吐露した。

「あなたは世界の女性たちの中で誰が一番幸せであると思いますか？」

彼女は答えを待たずに話を続けた。

「このように現代的な女性のための専門病院をもっており、みんなが無料治療を受けているこの現実は、われわれを感動させるだけでなく、驚かせています。

幸福の中にいながらその福を知らない朝鮮の女性たちより幸せな女性たちがどこにいましょうか？」

彼女の言葉は朝鮮のすべての女性たちに向けた言葉であった。生の楽天地を憧憬する全世界のすべての女性たちに言う言葉であった。





もっとも短い「講義」

朝鮮労働党創立 70 周年慶祝閲兵式及び平壌市大衆示威行進が終わったチュチェ 104（2015）年 10 月 10 日の午後頃であった。

午前の行事を取材しながら大きな衝撃を受けたある国の記者 2 名が党創立記念塔に訪ねてきた。

記念塔にたいする解説講義を聞いていた彼らの目は何気なく塔の前の広場で踊っている数百名の青年学生に向けられた。軽快な音楽に合わせて情熱にあふれて楽天的に踊っている青春男女の姿は自国では到底見られない美しさの極致であった。

党創立記念日が青年たちにあんなにも喜びを与えているのか。

解説講義が終わるや否や、記者たちが踊りの場に走っていってある娘の手を引いた。

「私たちは記者です。一つお聞きしたいんですが、あなたたちは青年であるのに、なぜ党創立記念日にこんなにも喜んで踊っているのですか？朝鮮には青年たちの祝日がないんですか？」

彼らの質問を聞いた娘は驚かざるを得なかった。

こういう質問は初めて聞いたのである。

一度も党と青年を分離させて考えたことがなかったからである。

青年問題を祖国と民族の将来の運命にかかわる重大な問題として提起し、常に青年たちにもっとも大きな信頼と愛情を傾け、明るい未来へと指導する朝鮮労働党！

党を離れて片時も生きられない青年たちであった。

それでわが青年たちの最大の希望は朝鮮労働党員になることだと思うのである。

娘がしばらく黙っていると、記者たちは心の中から快哉を叫んだ。

的を射る質問、これは記者を記者として存在させる最高の特技だと言えよう。

二人の記者が互いに目を合わせている時、娘が口を切った。その声は胸の奥から響いてくる、心からの声であった。

「われわれの青年たちにも青年デーがあります。青年重視思想を終始一貫推し立てているわが党で青年デーを制定しました。青年デーになると、全国の人民が喜び、ともに祝日を祝います。

しかし、わが青年たちは党創立記念日をより大きく慶祝します。なぜならば党はわが青年たちの運命と未来をすべて見守る母なる懐だからです。

党がなければわが青年たちの美しい未来もあり得ないからです。」

娘の答えは長くなかった。朝鮮における党と青年の相互関係にたいする素朴な表現であった。

「党が青年たちの母であるって？これは実に初めて聞く言葉です。」

彼らは興奮した。母は子供のために生き、子供は母のために命もささげるのが母と子供との相互関係ではないか。

そういう母と子供の関係が、まさに朝鮮の労働党と青年たちの関係なのである！

この世に数え切れないほど多くの党があるのに、それらの党がみな青年たちを育む母のようであるならば、世界はどんなに美しく変貌されるだろうか。

実に、朝鮮の奇跡のようなすべての建造物は、母を喜ばせようとする子供たち、つまり党に喜びを与えようとする青年たちの沸き立つ情熱と力の結晶体であると言えよう。

もっと長く話したならば、さほど感動が大きくなかったかも知れない。記者たちは党創立記念塔の前で会った平凡な娘に頭を下げて挨拶をした。

もっとも短い時間にもっとも立派な「講義」を受けたからであった。





記事「住宅を通した国家の恵沢」を読んで

ダモート・ハドソン
（イギリスチュチェ思想研究グループ責任者，
イギリス先軍政治研究協会委員長、
イギリス朝鮮親善協会公式代表）

私は「朝鮮の声」ウェーブ・サイトで「住宅を通した国家の恵沢」という記事を読んだ。記事は「朝鮮では国家の負担によって住宅を建設し、人民に無料で配当している」と書いている。もちろん、私は 1980 年に朝鮮民主主義人民共和国にたいして初めて関心をもって以来、そして 1992 年から人民朝鮮を 18 回訪問する過程にこの事実についてよく知っていた。この記事は資本主義のイギリスで暮らしている私に、チュチェの社会主義の優越性と資本主義イギリスの現実について深く考えさせた。

多くの人がこの記事を読みながら知るようになるだろうが､資本主義社会で家を借りることは一つの悪夢であると言える。借家は一人の収入の半分以上を奪い取っている。私が最初に住宅を一軒借りるとき､収入の 40%を支払った。また､貸主に保証金（先払い）も出さなければならないが、その保証金を取り戻すということは実に容易でない。貸主は普通、捏造した理由や口実をつくって借家暮らしの人々に保証金を返さないでいる。大部分の所有地を 1980 年代と 1990 年代に売り上げたことにより、最近は市庁の住宅も借りることが難しくてその賃貸料が安くない。ウリチの市庁住宅で住む当時、私は収入の 33%に値する賃貸料を支払った。家賃、電気、ガス、水、そして保険料まで含めるとその額数はやたらに増えて、勤労者一人の収入の 100%にまで達する場合がある。中年に入りながら私はやっとロンドン中心部から遠く離れたところに小さな住宅を一軒買うことができた。その住宅の価格は 25 万パウンドであった!いくらかの土地税は支払える財産があったので、私は借家の負担から解放されたと考えた。しかし私はその土地に年間 1,000 パウンドの「手数料」がつくことを知って失望せざるを得なかった!

最近、より多くの利潤を獲得しようとする土地管理会社は、元来の額数の 2 倍を超える手数料を出せと要求した。白昼の強盗さながらの行為である!この寄生虫どもはもしかして木にお金が生るとでも思っているのではないか?

これは私の最初の考えであった!ある仲間は私に、自分の家を買いながらも激しく暴騰して馬鹿に高くなった手数料を出さなければならない悪循環の境遇に追い込まれ

ているといった。有名な作家ウェール・ジャーク・ロンドンは、資本家が空気を瓶に入れる方法を探し出したならば、彼らはその空気を売って利益を得たであろうと書いている。

しかし、人民朝鮮の公民たちは住宅を無料で配当されている。

社会主義制度とチュチェ思想、そして金正恩委員長の指導の下に、人民朝鮮の公民は先払いや使用料、サービス手数料や家賃という言葉を知らずに幸せに暮らしている。人民朝鮮の公民が実に羨ましい!

人民朝鮮は社会主義楽園である。







地上の楽園―朝鮮民主主義人民共和国

インド先軍政治研究会委員長
サドナ・ハリシュ

辞典で「楽園」という単語を探して見れば、天国、あるいは幸せな場所や条件と解釈されてある。こういう意味からすれば、朝鮮民主主義人民共和国は人々がもっとも大きな幸福と尊厳高い生を享受している地上の楽園である。一時、ドイツの有名な女流作家ルイズ・リンザは「朝鮮民主主義人民共和国はキリスト教が渇望してきた天国、プラトンが描写した正義の社会であり、トマス・モアが想像していた理想郷、アウグスティヌスが憧憬した神様の都市である」といった。

朝鮮民主主義人民共和国で人びとは誰もが無料治療と無料教育を受けており、国家から無料で住宅を配当され、誰もが職業をもっており、退職年金のような社会的恵沢を享受している。もっとも注目に値するのは朝鮮民主主義人民共和国が高度の社会的恵沢を実施しているが、1974 年 3 月に税金が廃止されたことである。国家が住宅を建設して勤労者に無料で提供している。最近年、万寿台通り、倉田通り、未来科学者通り、そして黎明通りといった現代的な通りが相次いで建設され、住宅は各階層の人民に配当された。









2016年咸鏡北道の北部地域が水害を被ったとき、国家はすべての力量を総動員して２ヶ月という短期間で、ほぼ 12000 世帯の住宅を建設することにより、被害地域の人民により良い生活条件を提供した。また国家は農村の農場員のために新世紀の要求に即して現代的な住宅も建設している。このすべての大規模建設事業は帝国主義者の過酷な制裁と封鎖の中でおこなわれた。









すべての勤労者が住宅を配当されているため、家がなくて街で野宿する人は一人もいない。労働する年齢になったすべての人に職業を保障しているため、失業者やホームレスもいないし、麻薬の乱用と銃器類による暴力行為、エイズ、人身売買、掏り、強盗などのような社会悪が存在しない。西欧諸国ではこのような社会悪が大規模で横行している。朝鮮民主主義人民共和国では身寄りのない老人や孤児には当然の関心が払われている。彼らは社会の大事な構成員として認められており、彼らにもっとも良いことを保障している。最新設備をそなえた愛育院が建設されて院児たちにあらゆる施設とともに健康食品が保障されている。院児たちに高級な教育を与える初等及び中等学院が建設されている。学院には立派なスポーツ及び医療サービス施設も備えられている。













朝鮮民主主義人民共和国で人民にたいするすべての医療サービスも無料でおこなわれている。患者を診断し治療できる最新設備を備えた各種の専門病院が建設された。これらの病院では高い資質を備えた医者と看護婦が医療サービス活動をくり広げている。その代表的な病院は、平壌産院乳腺腫瘍研究所、玉流児童病院、柳京歯科病院、 柳京眼科総合病院などである。これらの病院では人民に無料で医療サービスをおこなっている。

無料による住宅の配当と治療以外に幼稚園から大学にいたるまで無料教育がおこなわれている。全般的無料教育制は1959年に実施された。

朝鮮民主主義人民共和国には多くの学校と大学があり、その教育水準も相当高い。このような教育機関の教育環境は世界的な水準である。







父母は子供の学校と大学の入学にたいして何の心配もしない。多くの国では子供を幼稚園から大学にまで送ることがたいへん困難な問題とされている。父母は子供の入学金を得るために奔走しなければならない。最近、朝鮮民主主義人民共和国では科学技術の発展に拍車をかけている。経済分野とともに社会生活のすべての領域で科学技術が重視されており、すべての問題を科学技術の力で解決している。金正恩委

員長は科学技術重視政策を国の基本的発展戦略
として示した。

　朝鮮民主主義人民共和国には生産手段にたいする社会的所有が確立されていることにより、いかなる敵対階級もなく、搾取と抑圧が一掃されている。したがって、階級的および社会的な不一致による対立が存在しない。朝鮮民主主義人民共和国の人民はどの資本主義国にも存在しない「主人としての高い自覚」をもっている。







　資本主義諸国では階級間の不一致が恒常的に激化されており、社会的および所得における不平等が日ごとに大きくなっている。

　真のチュチェの社会主義国である朝鮮民主主義人民共和国では国民所得にたいする公正な分配がなされている。それゆえ、所得における不平等が存在しない。国民所得の分配原則は「各人は能力に応じて働き、各人には必要に応じて供給する」である。有産者と無産者という二つの階級が存在しないので富める者と貧しい者を目にすることができない。財産家はあらゆる贅沢な消費をし、貧乏人は困苦欠乏の生活にあえいでいるのは資本主義諸国にありふれたことである。

　上述した通り、人民が現代文明の恩恵を享受している朝鮮民主主義人民共和国の現状況に照らしてみる時、この国こそ地上の天国であると言ってしかるべきである。

　金正恩委員長万歳!

　チュチェの社会主義朝鮮万歳!

　金日成・金正日主義万歳!

主体性と民族性を固守することにアフリカが発展できる唯一の道がある

ロヘケレ・カロンダ・アンドレ
(民主コンゴ)



1997年6月19日、金正日総書記は著作「革命と建設において主体性と民族性を固守するために」を発表した。

総書記の著作はわれわれに主体性を堅持し、民族性を固守して各自が社会的・文化的特性に合わせて自国人民の自主を保障し、帝国主義のくびきから脱しなければならないことを明白に示している。

アフリカではどの大陸でよりこの闘争がより激烈かつ長期にわたっておこなわれるだろう。チュチェ思想を研究し具現することのみがわれわれをして支配と搾取、従属を第2の天性としている民族のくびきから脱するようにする、唯一に肯定的な解決策である。ゆえに、わがアフリカ人民が互いに連帯し、力強く闘争して勤労人民の自主偉業の勝利を収めるべきである。アフリカの人民、特に、青年たちが創造的かつ革新的な教育体系の恩恵を受けて、無知蒙昧を排撃し、新しい技術により立派に精通するようにし、これ以上搾取と従属の対象にならないようにすべきである。経済に第一義的な力を入れてわが人民の熱い願いを叶えなければならない。またアフリカ人民は自力更生と民族の優秀性から前進の動力を得、民族生活のすべての分野で確固たる勝利を収めなければならない。われわれはアフリカ人としての誇り、コンゴ人、コート - ディヴォアール人、ウガンダ人、...としての誇り、われわれの皮膚色にたいする誇り、世界に臨むわれわれの能力にたいする誇りをもたなければならない。

今日、アフリカでは文化革命が切に必要であるが、この革命はわれわれをして歴史的責任感を自覚し、われわれ自身にたいする信頼、自力更生にもとづいて思考し行動するようにするであろう。われわれの尊厳と特性、みんなの進歩を開花させるためには、主体性と民族性を固守しなければならない。まさにそうする時にのみ、アフリカ人が、金正日総書記のこの天才的で歴史的な遺訓を体する資格を持つようになる。

国と民族の自主性、民族性を固守する上で提起される重要な問題



20 世紀に大英帝国を中心に支配されていた世界植民地体系が崩壊した後、思想と社会組織の対立によって二つの大国、つまりアメリカとソ連間に対決が存在したとするならば、20 世紀の末、ソ連の崩壊によって一つの超大国の支配体系が始まったように見えるが、事実上、大国の支配時代は幕を下ろし始めた。

今日、西欧とその文化から生まれ発展したアメリカ式生活様式と経済的価値観は、各国本然の個性を歴史的舞台から次第に消えるようにしている。

今日の現実はすべての国、特に発展途上諸国が次の二つの問題に特別な注意を払うことを求めている。

第一に、国家が自らの社会経済を指導管理する能力をもって国の発展と独立を保障しなければならないということである。

以前には国家という組織体系を弱化させ、その重要性を下落させながら「国家がしまいにはなくなる」と言うでたらめな空想家がいたとするなら、今日には発展途上諸国を政治的・経済的従属のどん底に追い込み、資源を略奪する目的で国家の指導的機能を否定し、社会的潜在力を弱化させようとする、新植民主義者がいる。特に経済分野にたいする国家の指導機能を拒否し、「国家とは最も無能な支配人である」というデマ説教を受け入れた国々は、みな社会的・経済的に重大な沈滞危機に陥っており、その中の一つがほかならぬモンゴルである。こうした状況下でわれわれは国家の存在を固守する偉業をわれわれの義務として受け止めるべきである。

第二に、国と民族の自主的権利を実現するためには主体性と民族性を固守しなければならないということである。

歴史的に民族間の矛盾と排他的行為など、民族的紛争は数え切れないほど多く発生したが、それによって利益を得た時期や人はいなかった。反面、自分の固有の民族

的優秀性を輝かせてきた人民は大きな成果と勝利を収めることができた。これについて朝鮮人民の金正日総書記は著作「革命と建設で主体性と民族性を固守することについて」で明白に示した。

外観上、力の上で優越に見える他民族、他国家に飲み込まれて自分の民族に反対する道を選択した取るに足りぬ奴隷的民族が固有な民族文化と歴史を失って、歴史の舞台から消えるようになった実例をわれわれは少なからず見てきた。他人に完全に従属された人を指してモンゴル人は「足かせをはめられた馬」に喩えている。足かせをはめられた馬が遠い道を走ることができようか？もちろん、今日の世界で足かせをはめられた馬のような民族の数は著しく縮まったといえるが、目の前の金銭的利益に目がくらんで長期的な戦略や政策もなく、外部勢力に依存する人たちは依然として存在する。外部勢力からもらうわずかの利益に屈服して彼らに奉仕するつまらない人間たちもいる。

こうした難局を打開する賢明な方策は、民族性を固守することにある。

ニュース

スイスでチュチェ思想に関する研究セミナーを開催

歴史的な卡倫会議 90 周年に際して 2020 年 6 月 7 日、スイスでチュチェ思想に関する研究セミナーがスイス南部地域のチュチェ思想研究グループの主催でおこなわれた。

セミナーにはスイス南部地域チュチェ思想研究グループの責任者とグループのメンバー20 余名が参加した。

討論者たちは金日成主席が創始した不滅のチュチェ思想の本質と重要性、生命力について討論しながら今日、自主性を守る道は社会主義を建設することであると一致して強調した。

南アフリカでインターネット・セミナーを開催

金正日総書記が朝鮮労働党中央委員会で活動を始めた 56 周年に際して 2020 年 6 月 12 日、南アフリカのガウテン州の金日成・金正日主義研究グループでインターネット・セミナーをおこなった。

セミナーには南アフリカのガウテン州の金日成・金正日主義研究グループの委員長であるガウテン州議会常設委員会の副委員長であり南アフリカ共産党ガウテン州第一副委員長、ガウテン州議会常設委員会の委員長、州政府首相顧問とアフリカ民族大会、南アフリカ共産党、労働組合連盟の主要メンバーが参加した。

E・メール、画像会議の形式でおこなわれたセミナーで参加者は金正日総書記の不朽の古典的著作「革命的党建設の根本問題について」「革命と建設において主体性と民族性を固守するために」で提示された思想を南アフリカ共産党と大衆団体の活動に具

現するための諸問題について討論した。

ルーマニアで全国セミナーを開催

金正日総書記が朝鮮労働党中央委員会で活動を始めた 56 周年に際して 2020 年 6 月 23 日、チュチェ思想研究ルーマニア全国委員会が民族社会主義党の庁舎で「チュチェ思想の生命力」の題で全国セミナーを開催した。

セミナーには民族社会主義党（ルーマニア）最高理事会委員長であり、チュチェ思想研究ルーマニア全国委員会委員長と党の最高理事会のメンバー、チュチェ思想研究グループ地域責任者 7 名が参加した。



討論者は、金正日総書記はチュチェ思想を総合体系化して金日成主義に定式化し、社会主義の科学性と真理性、必然性を論証し、社会主義を志向するすべての進歩的人民に信念と勇気を与えたと強調した。

討論者は金正恩委員長の賢明な指導の下に朝鮮人民が自力で社会主義強国建設偉業を必ずなし遂げることを確信するとし、チュチェ思想研究普及活動を朝鮮人民の正義の偉業を支持する連帯活動と密接に結びつけておこなっていく決意を披瀝した。

ブルガリアでインターネットによるセミナーを開催

金正日総書記が朝鮮労働党中央委員会で活動を始めた56周年に際して2020年6月15日、ブルガリアの金日成・金正日主義研究グループでインターネットによるセミナーを開催した。



セミナーは「朝鮮労働党の永遠な総書記である金正日同志と朝鮮の自主政治」という題でグループ責任者の基調発言とセミナー参加者との質疑応答の方法でおこなわれた。

討論者は金正日総書記が朝鮮労働党中央委員会で活動を始めた時から朝鮮労働党は党建設と活動において人民の利益を中心において闘争する人民大衆の党としてさら

に強化発展したことと総書記がチュチェ思想を深化発展させ、先軍政治によって国の自主権を守ったことについて強調した。

討論者は今日、朝鮮が世界的な伝染病の危機の中で国家と人民の安全を保障し、社会主義建設と人民生活の向上で引き続き大きな成果を収めていることについて激賞し、帝国主義反動派がいくら足掻いても朝鮮の自主政治は必ず勝利するだろうと確信すると強調した。

ネパールでインターネット・セミナーを開催

金正日総書記が朝鮮労働党中央委員会で活動を始めた 56 周年に際して 2020 年 6 月 16 日—6 月 19 日、ネパールでインターネットによるセミナーを開催した。

セミナーにはネパール共産党（政権党）書記局および常務委員会委員であり、国際部長である前ネパール政府首相を始め、7 名の人士が参加した。

討論者は、金正日総書記は卓越でエネルギッシュな思想理論活動により金日成主席の革命思想、チュチェ思想を現代、自主時代の指導思想として定立し、先軍政治を実施して朝鮮式社会主義の偉大な成果を固守したと強調した。

討論者は今日、朝鮮は朝鮮労働党委員長である金正恩同志の賢明な指導の下に、すべての難関を克服し、革命と建設のすべての分野で成果を収めているとし、朝鮮人民の正義の闘争に全的な支持と連帯を送るといった。

ドイツで研究セミナーを開催

金正日総書記が朝鮮労働党中央委員会で活動を始めた 56 周年に際して 2020 年 6 月 14 日、ドイツで金正日総書記の古典的著作「チュチェ思想について」にたいするドイツのフランケン・チュチェ思想研究グループのセミナーがおこなわれた。

セミナーにはグループの責任者とメンバーが参加した。

討論者は金正日総書記が金日成主席の天才的な思想を深く研究したため、チュチェ哲学を完璧に完成することができたとし、金正日総書記が思想理論活動で収めた業績と先軍政治を具現して社会主義を固守した上で収めた業績について高く称揚した。

イタリアでインターネットによる研究セミナーを開催

金正日総書記が朝鮮労働党中央委員会で活動を始めた 56 周年に際して 2020 年 6 月 10 日―18 日、イタリアでイタリアのミラノ・チュチェ思想研究センター、イタリアの自主と主権のための先軍思想研究委員会、ローマ青年チュチェ思想、先軍思想研究グループの共同主催で金正日総書記の古典的著作「現代帝国主義の特徴と侵略的本性について」に関するインターネットによる研究セミナーがおこなわれた。

セミナーにはイタリアの自主と主権のための先軍思想研究委員会委員長、「ラ・ボチェ」編集局長、ローマ青年チュチェ思想、先軍思想研究グループの書記長、ミラノ・チュチェ思想研究センターが運営するホームページに掲載し、討論会の参加者の討論文をインターネットに掲載、閲覧する方法でおこなわれた。

討論者は、金正日指導者は精力的な思索と探求によって世界の自主化偉業の実現と反帝闘争が進むべき前途を示した偉大な政治家であると激賞した。

討論者は今日、朝鮮は金正恩委員長の賢明な指導の下に帝国主義者の圧力と封鎖策動を自力自強の威力で粉砕して、国の自主権と尊厳を固守し、社会主義強国建設を目指す闘争で奇跡と革新を創造しているとし、朝鮮人民の闘争を支持し声援する連帯活動を積極的にくり広げる決意を披瀝した。

パキスタンでセミナーを開催

金正日総書記が朝鮮労働党中央委員会で活動を始めた 56 周年に際して 2020 年 6 月 18 日、パキスタンでパキスタン自力更生研究協会の主催でセミナーがおこなわれた。

セミナーにはパキスタン自力更生研究協会の委員長と書記長、パキスタンのチュチェ思想研究女性組織の責任者、パキスタンのチュチェ研究センターの責任者、パキスタン青年及び大学生組織の責任者など、各人士が参加した。

討論者は金正日総書記が先軍政治を社会主義の基本政治方式、朝鮮労働党の革命方式に押し立ててエネルギッシュな先軍革命指導によって社会主義強国建設を前進さ

せ、卓越した思想理論活動と精力的な指導によって世界の自主化偉業の遂行に不滅の貢献をしたと強調した。

討論者は今日、朝鮮人民は金正恩委員長を朝鮮労働党の委員長として高くいただいた誇りをもって党を強化し、社会主義強国建設偉業をなし遂げるために力強く闘争しているとし、社会主義朝鮮の富強発展と世界の平和のために尊敬する金正恩委員長のご健康を祈願した。

新書紹介

実話集　「祝日の賓客」

最近、朝鮮社会科学者協会の作家である印勲（インフン）、廉正実（リョムジョンシル）が書いた実話集「祝日の賓客」を金星（クムソン）青年出版社で出版発行した。



実話集には朝鮮の祝日に訪朝した各国の賓客について生活的に書いた７篇の実話が編集されている。

「教授賓客」では、アフリカ民族の尊厳を貴ぶナイジェリアの著名な教授であるアルハッサン・マンマンの人間味を、「美人は誰に嫁いだのか」では、エチオピアの国会議員であるニガトゥ・ダグナチェウと妻の愛情の物語を、「私の声が聞こえる？」では、ギニアのチュチェ文学思想研究会の会長であるアブドライエ・ディアロが朝鮮に来て妻に送る心中の思いを、「医者賓客」ではイギリスのある病院の医者であるアシュシュ・グプタとその家族が朝鮮訪問を決心するまでの生活を形象化している。またフランスの著名な学者であり、社会活動家であるエドモン・ジューブ院士を主人公とした「風流の男はどこへ...」、アジア地域チュチェ思想研究所ハリシュ・グプタ理事長の孫息子、孫娘を主人公にした「子供賓客」、前チュチェ思想国際研究所ビシュワナス理事長の最後の姿を形象化した「鶴は今日も飛んでいる」などは、真実味と哲学的深奥さによって読者たちを退きつけている。

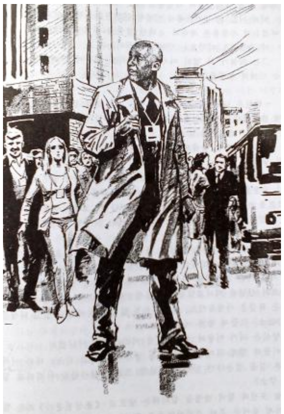
また実話は原型人物を描いた挿絵によって異彩を放っている。



教授賓客



美人は誰に嫁いだのか



私の声が聞こえる？



医者賓客



風流の男はどこへ…



子供賓客

読者たちは自主的人間の形象を通じてわれわれの時代の唯一の指導思想であるチュチェ思想の生命力と正当性をよりよく知るようになるであろう。

